

重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会の取組事例

～松山市で水害対応図上型防災訓練を実施～

－ 松山河川国道事務所 －

- 令和元年6月5日、松山市において、水害発生時の役割の確認や対策活動上の問題点・課題を抽出し、災害対応能力の向上を図ることを目的に、図上型防災訓練を実施しました。
- 訓練は、訓練当日にコントローラーからの状況付与により、プレイヤーが災害対応を行うもので、大雨による浸水害、土砂災害、道路被害等を想定し、様々な応急対応、住民からの情報や要望等に対しての対応訓練を行い、職員の災害対応能力と防災意識の向上を図りました。

◆訓練主眼(メイン項目)

- ・災害対策本部の運営
- ・各班の対応方法の確認
- ・情報伝達の確認
- ・避難勧告の判断及び発令時の行動の確認

◆訓練方式

- ・図上シミュレーション方式
- ・ブラインド方式

◆参加者

- ・約200名



コントローラーによる状況の付与



プレイヤーによる訓練の様子



各班の対応の様子